放射線科

患者数実績	令和２年度	令和３年度	令和４年度
のべ入院患者数　年間	319	221	186
１日平均	1	1	1
外来患者数　年間	11, 124	11, 267	11, 504
１日平均	46	46	47
画像診断読影件数			
CT	15, 910	18, 018	17, 871
MRI	3, 693	4, 474	4, 262
RI	1, 263	1, 262	1, 230
PET	984	1, 152	1, 301
IVR 症例　総数	1, 047	1, 024	999
血管系 IVR			
CVport 留置	386	360	346
肝動脈化学塞栓術・肝動注化学療法	31	13	17
塞栓術　外傷	29	13	6
塞栓術　血管炎／SAM／MARS／特発性出血	8	4	5
塞栓術　消化管出血	4	4	15
塞栓術　胆膵炎症関連	5	4	1
塞栓術　産科出血	7	3	5
塞栓術　医原性／術後出血	4	5	5
塞栓術　喀血	3	1	2
塞栓術　子宮筋腫	1	0	1
塞栓術　肺動静脈奇形（AVM）	0	0	3
塞栓術　内臓動脈瘤	6	3	3
塞栓術　腹部／骨盤　血管奇形（AVM）	0	0	0
塞栓術　肝腫瘍破裂	4	2	3
塞栓術　腎腫瘍	2	3	5
塞栓術　腹部腫瘍（肝、腎以外、破裂含む）	0	3	6
塞栓術　軟部腫瘍	0	2	0
塞栓術　EVAR TEVAR エンドリーク	2	0	0
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術（BRTO）	3	3	4
塞栓術　PTO（S）	3	1	0
塞栓術　PSE	1	4	6
副腎静脈サンプリング	2	2	1
留置術　大静脈ステント	3	2	0
留置術　動脈ステント／ステントグラフト	0	0	0
留置術　大動脈遮断バルーン IABO	4	0	0
上腸間膜動脈　血栓吸引溶解	0	4	1
経皮的血管内異物除去	0	2	0
リンパ管造影・塞栓術	1	1	1

非血管系 IVR			
肝ラジオ波焼灼療法（RFA）	2	0	0
肝マイクロ波凝固療法（MWA）	51	41	39
肺ラジオ波焼灼療法（RFA）	0	0	0
腎ラジオ波焼灼療法（RFA）	0	0	2
骨ラジオ波焼灼療法（RFA）	0	0	1
骨盤内腫瘍ラジオ波焼灼療法（RFA）	0	0	1
経皮的生検	82	120	143
経皮的ドレナージ（気胸、膿、胸水、液体、消化管　など）	71	70	71
胆嚢ドレナージ PTGBD	23	22	30
経皮経肝胆管ドレナージ PTBD	30	18	15
胆管ステント留置	4	6	4
経皮経肝的胆道結石除去	0	1	2
肝嚢胞固定	0	3	2
放射線治療　総数	**8, 511**	**8, 319**	**8, 510**
主な放射線治療内訳			
外部照射総数（人）	434	443	443
特殊照射件数（件）	116	128	167
定位脳照射	19	13	14
定位体幹部照射	25	19	50
強度変調放射線治療（IMRT）	72	96	103
腔内照射	0	0	0
メタストロン内服治療	0	0	0
ゾーフィゴ内服治療	0	8	9
放射性ヨウ素内用療法	8	7	8
原発部位別（人）	434	444	443
脳・脊髄腫瘍	7	7	4
頭頸部腫瘍（甲状腺腫瘍を含む）	16	22	17
食道癌	15	13	11
肺癌・気管・縦隔腫瘍	125	114	131
（うち、肺癌）	122	113	129
乳癌	104	77	92
肝・胆・膵癌	12	24	18
胃・小腸・結腸・直腸癌	23	36	18
婦人科腫瘍	17	23	22
泌尿器系腫瘍	75	75	91
（うち、前立腺癌）	63	67	79
造血器リンパ系腫瘍	20	32	20
皮膚・骨・軟部腫瘍	6	6	7
その他（悪性腫瘍）	4	4	5
良性腫瘍	10	10	7
15歳以下の小児例（上記と重複）	0	1	0

IVR ではラジオ波焼灼療法（RFA）が肺や腎などに適応が拡大となり、各領域で周知されることが必要である。放射線治療件数は横ばいだが、原発性肺癌への定位照射件数がかなり増加した。また前立腺癌の IMRT 件数も増加傾向である。　（文責／放射線科　第一主任部長　宮本　憲幸）